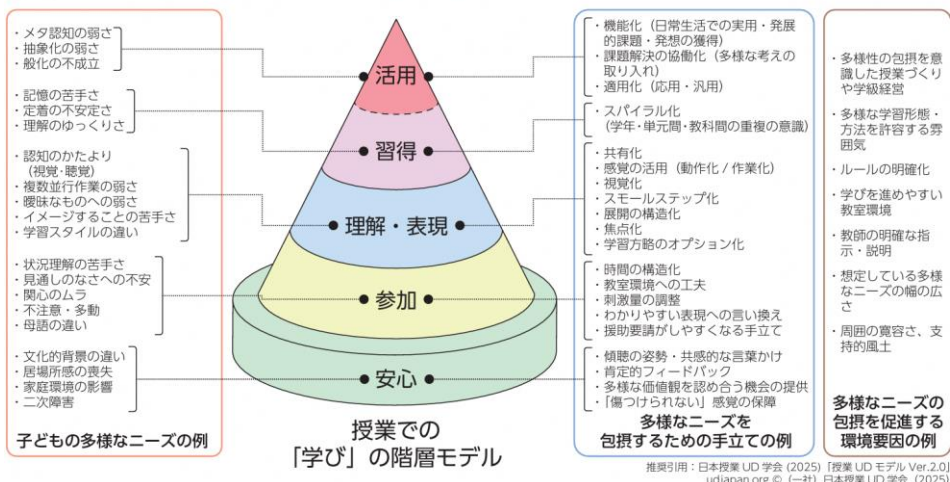


実施日：令和8年（2026年）5月20日

研究テーマ：多様な子どもたちが「安心」できる授業づくり・学級づくり

授業 UD モデル Ver.2.0



昨年度、日本授業UD学会が作成する「授業UDモデル」の改訂がなされた。

これまでは「参加」がベースとなっていたが、今回のものでは「安心」が基盤となる階層モデルとなった。これまで以上に子どもたちの「安心」や「居場所」といった視点で授業や学級を築いていく必要があるとこのモデルからも読み取ることができる。

引用：日本授業UD学会（2025）
「授業UDモデルVer.2.0」

研究会の達成目標

1. 子どもの多様なニーズを見取る力
2. 安心できる学級・授業環境をデザインする力
3. 授業UDモデルVer.2.0を活用した授業改善力

活動内容

今回は、本会代表の橋本明良（豊中市立上野小学校）が話題提供者となり、「多様な子どもたちが「安心」できる授業づくり・学級づくり」をテーマに参会者のみなさんと意見交流を行った。

授業UDモデルに示されているように「安心」のための手立て①傾聴の姿勢②共感的な言葉かけ③肯定的フィードバック④多様な価値観を認め合う⑤「傷つけられない」感覚の保障、以上5点のことを意識しながら児童・生徒とのかかわりを大切にしていきたいと1つ結論づけることができた。

また、子どもたちの安心を保障するために、私たち教師が指導者、支援者としてどのような在り方が適切であるかを検討・協議することができた。

今後の活動

認定研究会 授業UD部会

多様な子どもたちが
「安心」できる
授業づくり・学級づくり

すべての子どもたちが安心して過ごし、学び合える授業や学級とはどのようなものかを一緒に考えていきましょう。

日程

2026年7月1日（水）
15:00～

場所

豊中市立野畑小学校

講師

対話

内容

ご講演

参加者による意見交流

質疑応答